

おいしさ（とうもろこし）

1

テーマの設定理由

「おいしい」とは何か？ということが「おいしい」と感じる事なのか。子どもが味わって食べるという経験を本当にしているのか？という問いから、子ども自身が「おいしさ」とは何かを探究する楽しさを知ってもらいたい。

2

準備物

- IH
- フライパン
- トング
- 包丁
- まな板
- バット

3

食材

- ヤングコーン【栃木県】
- ゴールドラッシュ【千葉県】
- ピュアホワイト【千葉県】
- 油
- 塩



環境設定

1 観察

ともろこしとヤングコーンは参加している全ての子ども達が常に観察できるよう人数分用意する。

「色」や「名前」を問い開ける。

それにオノマトペや擬音語を話しに混ぜて行う。

環境設定

2 皮をむく・切る

野菜の臭い・破る時の音・野菜の種類を、能動的な作業を行うことでより体感できるようにする。

皮を破りヤングコーンを取り出す。



環境設定

3 変化の観察

各器具の名称を伝える。

調理に使う包丁やIHとフライパンに関して「触らないで」と伝えるのではなく包丁や熱源の危険性を一緒に考えていく。

調理前と調理後の変化を1人1人が感じられるように、フライパンに入った状態で子ども達に見せて周る。この際もう一度子ども達と熱源に触れるとどうなるかを一緒に考え、注意喚起を行う。

環境設定

4 共食

大人も子どもも関係なく、1人の人間としての食べた感想をお互いに問いかけ「どうだった？」ながら共食する。

味わうために、全ての種類を一斉に配るのでなく1つずつ品種ごとに配布する。

アンケートをとり、想像やイメージと違ったのか同じだったのかなと言語表現を促す。



環境設定

5 活動後

活動が終わった後にすぐ行うことで、興味や探究を維持できる。

掲示や絵本なども用意することで活動がより深まる。

環境設定